

学 術 論 文 投 稿 規 程

投稿者の資格

第1条 本誌に投稿するものは原則として本会の会員に限る。但し国外からの欧文号への投稿論文の採否は、編集会議において決定する。

投稿内容

第2条 投稿原著は未発表のものに限り、既に他誌に発表されたものは受付けない。

投稿要領

第3条 投稿のさいは、原稿とともにコピー2部を添付すること。但し付図のうち写真は原稿を含めて3組添付のこと。

執筆要領

第4条 本誌の投稿用語は和文若しくは欧文とし、次の要領に従って執筆されたい。

I 和文号投稿規定

1. 平仮名横書きとし、句読点を切り、明瞭に清書すること。本文 400字詰の原稿用紙に記入すること。当用漢字と新仮名使いを用い、学術用語は日本医学会の所定に従うこと。
2. 記述の順序は表題、所属、著者名（以上英文も併記のこと。姓名は次の例のように記す。山川太郎 Taro YAMAKAWA）、概要（800字以内）、本文、文献、図、表、写真とすること。
3. 本文は次の順序に記載すること。
緒言、研究(実験)方法、結果、考案、総括または結論（概要に含ませて省略することが望ましい）。
4. 図、表、写真は別にまとめて添付し、図1、表1の如く順番を付し、本文中に挿入されるべき位置を明示しておくこと。
5. 数字は算用数字を用い、単位、生物学、物理学、化学上の記号はm, cm, mm, μ , m μ , g, mg, μ g, l, ml, 37.2°C, pH, N, M, Ci, mCi, μ Ci 等とする。記号のあとには点をつけない。
6. 外国の人名および地名は原語のまま記し、欧語はすべてタイプでうつこと。
7. 文献の引用は論文に直接関係のあるものにとどめ、次の要領で本文末尾に著者名のABC順にまとめること。なお文献番号は本文中においても使わない。
- 1) 原著論文の場合には、著者名（発行西暦年）：雑

誌名、巻、最初頁の順に記し、本邦の雑誌名は日本医学雑誌略名表（日本医学図書館協会編）に、欧文誌はIndex Medicusに従って記載されたい。欧文誌の著者名は姓を先に名は略語で後に記し、邦文誌著者名は姓名を略さずに記す。共著者名も略さぬこと。日本語と欧文の両方の文献が引用されているときには先ず日本語の文献だけをABC順に配列し、次に欧文文献を同様に配列すること。本文の中では著者姓（西暦年）を配し、2名を越える著者の場合には誰々他と略す。

- 2) 単行本の場合は、著者名（発行西暦年）：本名、第何版、引用頁：出版社、発行地の順序に記すこと。
 - 3) 同一著者が同じ年に発表した異なる文献を引用する場合には a, b, c, ……を付して区別する。例：山川（1960 a）, 山川（1960 b）
 8. 原稿は原著・診療・速報・学術講演の内容要旨・依頼稿・その他に分類する。投稿者は原稿の欄外に希望（或は該当）の分類を朱書すること。
 9. 論文の長さは原著が印刷10頁以内（本文の活字は9ポ、表は組版として概要・本文・図・表・文献を含めて400字詰原稿用紙約30枚）とし超過頁を認めない。診療は印刷4頁以内（図・表・文献とも400字詰原稿用紙約15枚）、速報は印刷2頁以内（図・表・文献とも400字詰原稿用紙約7枚）とする。
- 学術講演会のシンポジウム、特別講演は1演者につき印刷10頁以内、教育的内容を主とするシンポジウム・特別講演は1演者につき印刷2頁以内（以上は図表を含む。但しアート紙およびカラー写真は制限頁数内で使用を認める。）、一般講演は800字以内（図表は掲載しない）の内容要旨を講演当日学会に提出すること。これらの内容要旨は本会誌に掲載される。招請講演は1演者につき印刷10頁以内の内容要旨を本会誌に掲載することができる。
10. 英文抄録は原著を投稿する際には必ず付すること。本抄録はタイプでダブルスペースに打ち、表題、著者名、所属、本文の順に記載する。抄録本文は200語以内とし、必ずそれを母国語とする者

の校閲を受けるなどして文法、綴りに誤りがないように期すること。なお、英語の綴りは米国式とする（Ⅱ 7 参照）

11. その他に 400字以内の文献カード用抄録（論文受理に際し交付される別紙）を提出すること。

Ⅱ 欧文号投稿規定

1. 本誌の投稿用語は英、独或は仏語とする。（その他の国語で発表したものは受付けない。）
2. 記述の順序は表題（各頁の上に入れる見出しの表題（間隔を含めて40字以内のもの）も同時にきめて記載すること）、著者名、所属、Abstract（英文で200語以内）Introduction, Materials and Method Results, Discussion, Summary（Abstract で十分ならば省く）References, Figures and Tables とする。所属機関の英訳は公式に定められたものを用いること。
3. 論文の長さは印刷8頁以内とし、原稿は必ずタイプで国際規格用紙（21.8×28.0cm）にダブルスペースに打ち、左右各2cm、上下各3cmの余白を残すこと。
4. 図・表は別に添付し番号を付し、本文中に挿入されるべき位置を明示しておくこと。
5. 単位、記号はm, cm, mm, μ , m μ , g, mg, μ g, l, ml, 37.2°C, pH, N, M, Ci, mCi, μ Ci等とする。
6. 引用文献は本文末尾に著者のABC順に番号を付さずに配列する。著者名（年代）：雑誌の略名、巻数、頁数の順に記載すること。雑誌の略名はIndex Medicusに準ずること。著者名は姓を先に名は略語で後に記し、共著者も略さずに記入すること。本文中でも番号を付けずに著者名（2名を越える時は第1著者 et al. とする）に続き（年代）を記す。同著者が同年に発表した異なる文献を引用する時には年号の次にa,b,c,を付して区別する。邦文雑誌を引用する時は公式の欧文略名を用い、それが無い場合は日本語名をそのままローマ字書きとする。いずれの場合も（In Japanese）と註記すること。
7. 欧文は必ずそれぞれの言葉を母国語とする者の校閲を受けるなどして方法、綴りに誤りがないように期すること。なお英語の綴りは米国式とする。
例：center, estrogen, gynecology etc.
8. 和文概要（600字以内）を必ず同時に提出すること。

9. 速報は Note（或は Letter）として受付け、論文の長さは図、表、文献とも印刷2頁以内とする。

原稿の採否

- 第5条 投稿規定に定められた各項目が具備された時、原稿は編集会議（編集担当理事により構成される）に提出され、その採否が決定される。

原稿の掲載費

- 第6条 1. 和文号原著および速報の印刷費のうち組版代および製版代は著者負担とする。
2. 欧文号原著および速報の印刷費のうち組版代および製版代の半額は著者負担とする。
3. 学術講演要旨の紙代および印刷費は無料とする。
4. フォト紙およびカラー写真の使用は実費負担とする。

原稿の掲載

- 第7条 1. 採用された論文は採用順に掲載される。
2. 特別掲載の希望があれば採用順序によらず速かに論文を掲載する。

この際には特別掲載として一切の費用（紙代、印刷費および送料超過分）は著者負担とする。特別掲載を希望するものはその旨論文に朱書すること。

3. 国外からの論文の掲載費は特別掲載に準ずる。

校正

- 第8条 学術講演会特集号を除き、印刷の初校はすべて著者校正とする。ただし編集者指定の期日以内に原稿とともに返送すること。著者校正の際には組版面積に影響を与えるような改変や極端な組替えは許されない。

別刷

- 第9条 1. 別刷の実費は著者負担とする。予め希望部数を原稿に朱書すること。
2. 別刷の前刷は行なわない。
3. 但し、学術講演会のシンポジウム・特別講演・招請講演内容要旨に限り、別刷の前配布を希望する者は会長の定める時期までに原稿を提出すること。これらの別刷は50部まで無料とし、それを越える部数は実費負担とする。
4. 編集会議よりの依頼原稿並びに欧文号原著には別刷50部を無料贈呈する。

改定 昭和40・4・1 昭和42・4・1
昭和44・4・1 昭和47・6・21
昭和48・9・1 昭和49・3・1